国交省専門官による講演会のご案内

定員となりましたので、締切りました

＜申込者多数につき、会場を４０５号室に変更しました＞

昨年 12 月に、中央自動車道笠子トンネルの天井板崩落で通行中の車を直撃、多くの犠牲者を出した事故は、国民をはじめ多くの関係者に大きな衝撃を与えた。単に接着系アンカーの耐力計算と施工方法だけでなく、点検されず劣化や損傷の状況すら不明な施設の維持管理のあり方に問題があったと報道された。

この度、国土交通省近畿整備局管内におけるインフラの維持管理の考え方や実施状況について専門官にご講演をしていただくことになりました。

これまで、平成 21 年に近畿整備局企画部長のご講演、平成 23 年に紀伊半島を襲った台風 12 号による森林斜面の深層崩壊の緊急対策工事の状況等について河川専門官にご講演をいただきました。今後も社会インフラ整備の一端を担う者として、国土交通省の専門官との交流を図っていきたいと考えていますので奮ってご出席ください。

なお、日本技術士会から CPD 証明書が発行されます。

ー　記　ー

日　時　；　平成２５年７月２４日（水）15：00～17：00

場　所　；　大阪科学技術センター４０５号室（70 名収容可）＜会場変更となりました＞

主　催　；　公益社団法人　日本技術士会　近畿本部

共　催　；　公益社団法人　大阪技術振興協会

講演者　；　国交省近畿整備局　道路保全企画官　先本　勉 氏

テーマ　；　（仮題）「社会資本の整備の現状と維持管理の最近の動向」

参加費　；　無料

問合せ　；　TEL　０６－６４４４－３７２２　（日本技術士会近畿本部/福岡）

又は、TEL　０６－６４４４－４７９８（大阪技術振興協会/岸田）

▶ ▶

出席希望者の申込書；一般市民の方も参加できます

FAX；06-6444-3740（日本技術士会近畿本部）　06-6444-4818（大阪技術振興協会）

ご氏名	所属名・連絡先	備考(技術士・一般)

なお、団体からの申し込みは何名と参加者人数の記入でよしとします。